

■第4回大阪狭山市空家等対策協議会の意見を踏まえた修正点

頁	項目	修正前	修正後（修正内容）
	表紙裏面	-	「・本計画における元号は「平成」を使用しています。今後、元号が改められた場合は、新たな元号が施行された日以降の元号及びそれに続く年数を、新たな元号及び年数に読み替えることとします。」を追記
2	第1章2. 計画の位置づけ	本計画は、空家法及び国が定めた基本的な指針に基づいて定めることとします。 本計画の策定にあたっては、本市の上位計画である「第四次大阪狭山市総合計画」に即するとともに、	本計画は空家法に基づいて定めることとし、 本市の上位計画である「第四次大阪狭山市総合計画」に即するとともに、
4	第2章1. 人口の推移	-	図表2と図表3の順番の入れ替え
17	第2章3. (1) ①相続を契機とした空家の発生	所有者の子世代が同居していない世帯が多いことから、空家となるケースが多くみられます。	所有者の子世代が同居していない世帯が多いことから、 両親が亡くなった際に空家となった ケースが多くみられます。
18	第2章3. (2) ①空家所有者のリスク認識の不足	(犯罪や事故の発生、損害賠償責任等)	(犯罪や事故の発生、 建物の倒壊・倒木等による損害賠償の発生 等)
18	第2章3. (2) ③所有者の高齢化や遠方に居住していることによる管理不全	全体の約80%が「年に数回」以上の管理を行っており、 空家への管理意識は高いと考えられます。	全体の約80%が「年に数回」以上の管理を行っており、 管理されていない空家は少ないと考えられます。
18	第2章3. (2) ③所有者の高齢化や遠方に居住していることによる管理不全	所有者だけでは維持管理が難しい場合に所有者の空家管理をサポートする仕組みとして、 地域ぐるみの見守り や民間の事業者、NPO*、ボランティア団体等の多様な主体と連携した体制づくりが必要であると考えられます。	所有者だけでは維持管理が難しい場合に所有者の空家管理をサポートする仕組みとして、 地域 や民間の事業者、NPO* 6 、ボランティア団体等の多様な主体と連携した体制づくりが必要であると考えられます。
19	第2章3. (3) ③空家の賃貸条件の多様化への啓発不足	また、 民泊施設 、シェアハウス*、リノベーション*による店舗等への用途転換等、従来の建物利用にこだわらない利活用もみられます。	また、シェアハウス* 11 、リノベーション* 12 による店舗等への用途転換等、従来の建物利用にこだわらない利活用もみられます。

■第4回大阪狭山市空家等対策協議会の意見を踏まえた修正点

頁	項目	修正前	修正後（修正内容）
21	第3章2. (2)空家の「適切な管理」	本市では、空家の所有者等による適切な管理を促し、空家が放置され管理不全な状態に なることを防止します。	本市では、空家の所有者等に適切な管理を促し、空家が放置され管理不全な状態に ならないよう努めます。
24	解説	昭和56年（1985年）	昭和56年 （1981年）
25	第4章2. (2)管理不全な空家の所有者への対応	必要に応じ空家法第12条に規定する情報の提供、助言その他必要な援助を 行います。	必要に応じ空家法第12条に規定する情報の提供、助言その他必要な援助を 行うよう努めます。
27	図表20	-	文字を黒に修正
29	第4章3. (2) ④既存ストックを活かした活用事例の紹介	空家の利活用に関する説明会や相談会等の実施等、空家活用に向けた積極的な情報発信を行い、空家の利活用事例の創出に つなげていきます。	空家の利活用に関する説明会や相談会等の実施等、空家活用に向けた積極的な情報発信を行い、空家の利活用事例の創出に 努めます。
34	第5章1. (2) ②立ち入り調査	-	「なお、立入調査を拒否・妨害等をした者は、20万円以下の過料に処される場合があります。」と追記。
35	第5章1. (3) ③命令（空家法第14条第3項）	-	「なお、空家等の所有者等が命令に従わない場合、50万円以下の過料に処される場合があります。」を追記
38	第5章2. (2)緊急時における危険な空家への対応	周辺住民に対し被害を及ぼす可能性が高い危険な状態の空家に対しては、庁内関係部署等と連携して応急的な措置を 講じます。	周辺住民に対し被害を及ぼす可能性が高い危険な状態の空家に対しては、庁内関係部署等と連携して応急的な措置を 講ずるよう努めます。
38	第5章2. (3)管理不全な空家の指導に関する関係法令に基づく対応	管理不全な空家に対し、空家法に基づく対応だけでなく、関連する他の法令等に基づく指導や措置の可能性を検討し、効果的に 対応します。	管理不全な空家に対し、空家法に基づく対応だけでなく、関連する他の法令等に基づく指導や措置の可能性を検討し、効果的に 対応するよう努めます。
43	用語集	-	「あいうえお順」から「記載が早く出てきた順」に修正。また、番号を附番し、繰り返し用語が出てきた場合は、項ごとに改めて印「*」を付加
全体	グラフ	-	グラフの属性を黒枠で囲む。また、数字に単位を記載